

## 2 安全・安心のまちづくり

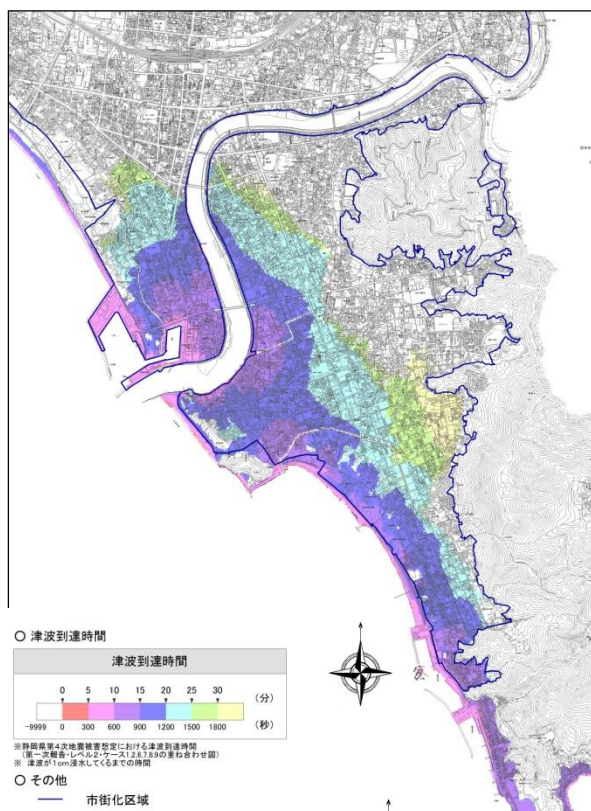
### (1) 第1回委員会の主要指摘事項

- ・ 防災の取組みには裏付けと空間的な検討が必要
- ・ 避難ビルの配置状況や収容人数など具体的なデータを空間的に示すことが必要

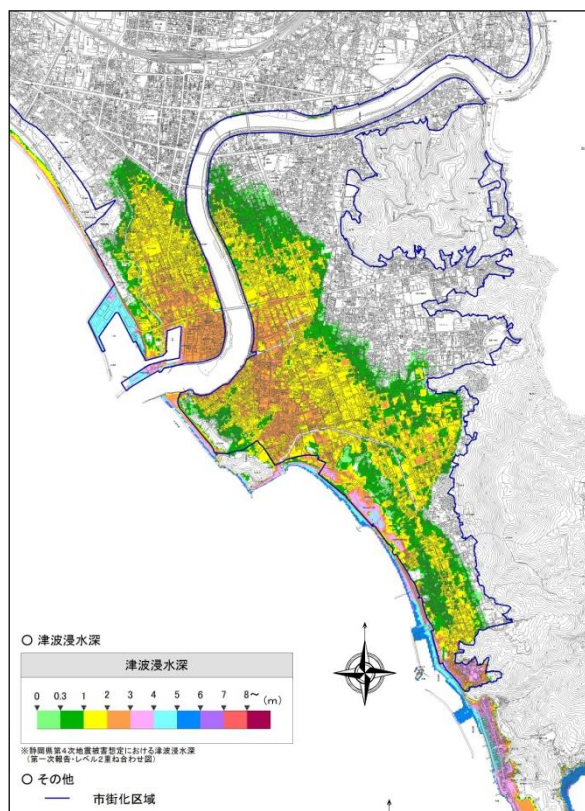
### (2) 指摘を踏まえた対応

津波防災及び都市防災について被害想定と対策状況を図化することで、地域特性を浮かび上げらせそれぞれの対策を示す。(津波避難困難地域、延焼・地盤沈下想定区域、土砂災害・急傾斜警戒区域、河川氾濫浸水区域)

《津波到達時間》



《津波浸水》



出典：静岡県第4次地震被害想定

**凡 例**

- 市街化調整区域
- 砂防指定地
- 土石流危険区域
- 土石流危険渓流
- 急傾斜地崩壊危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり防止区域
- 地すべり危険箇所

○ 河川氾濫による浸水域と浸水深

河川氾濫による浸水域  
\* 資料：国土数値情報 (H23)

0 0.5 1.0 2.0 5.0  
(m)

○ その他  
— 市街化区域

○ 老朽建築物

| 凡 例 |           |
|-----|-----------|
|     | e56以前の木造  |
|     | e56以前の非木造 |
|     | e56以降の建築物 |
|     | 登録情報なし    |

○ その他

|  |          |
|--|----------|
|  | 津波浸水想定区域 |
|  | 市街化区域    |

e56以前の木造

e56以前の非木造

e56以降の建築物

登録情報なし

○ 建築物

| 耐火建築物・建築物 |                      |
|-----------|----------------------|
|           | 耐火建築物（鉄筋コンクリート造、石造等） |
|           | 木造                   |
|           | 非木造（鉄骨造等）            |
|           | 登記情報なし               |

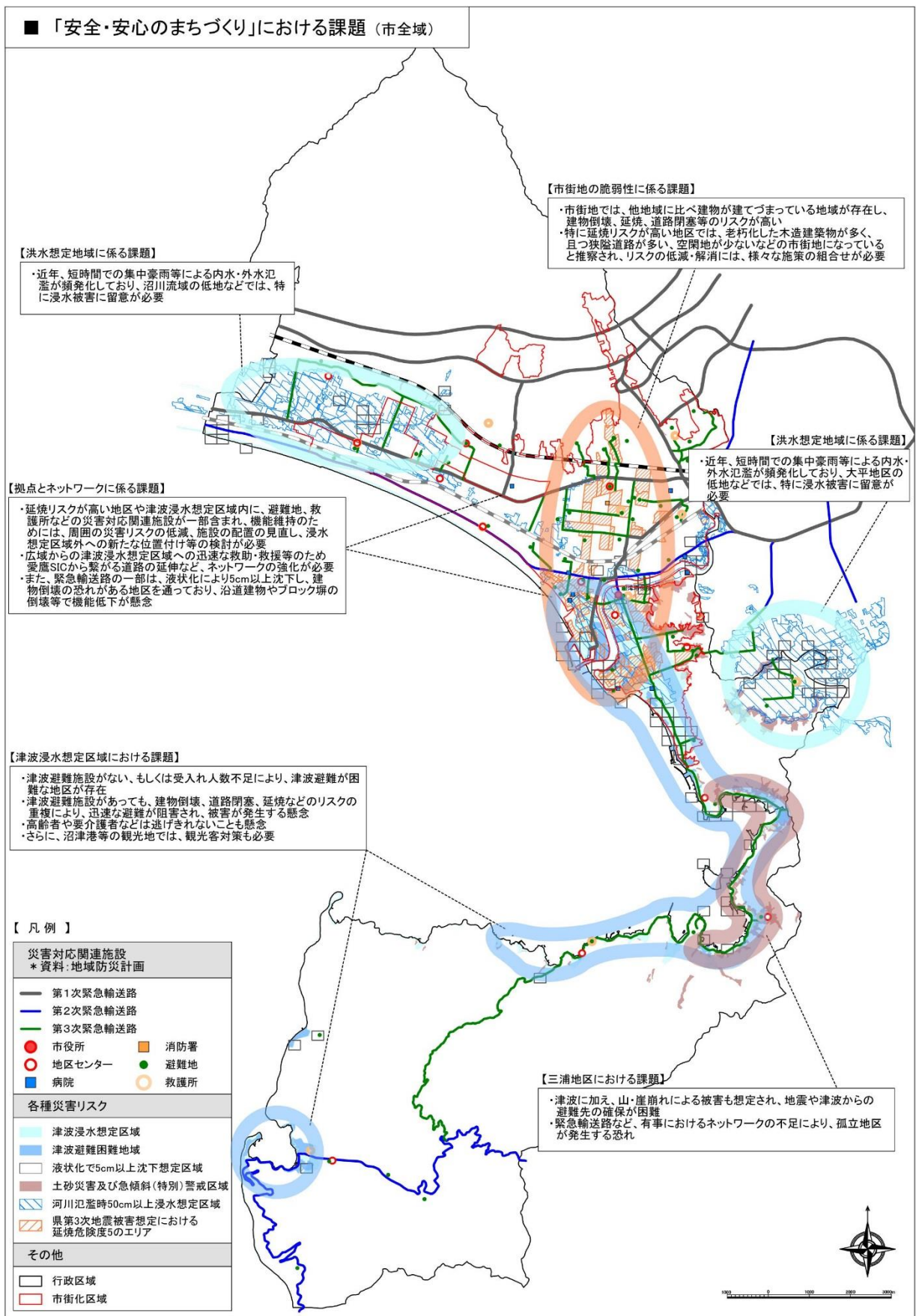
○ その他

津波浸水想定区域

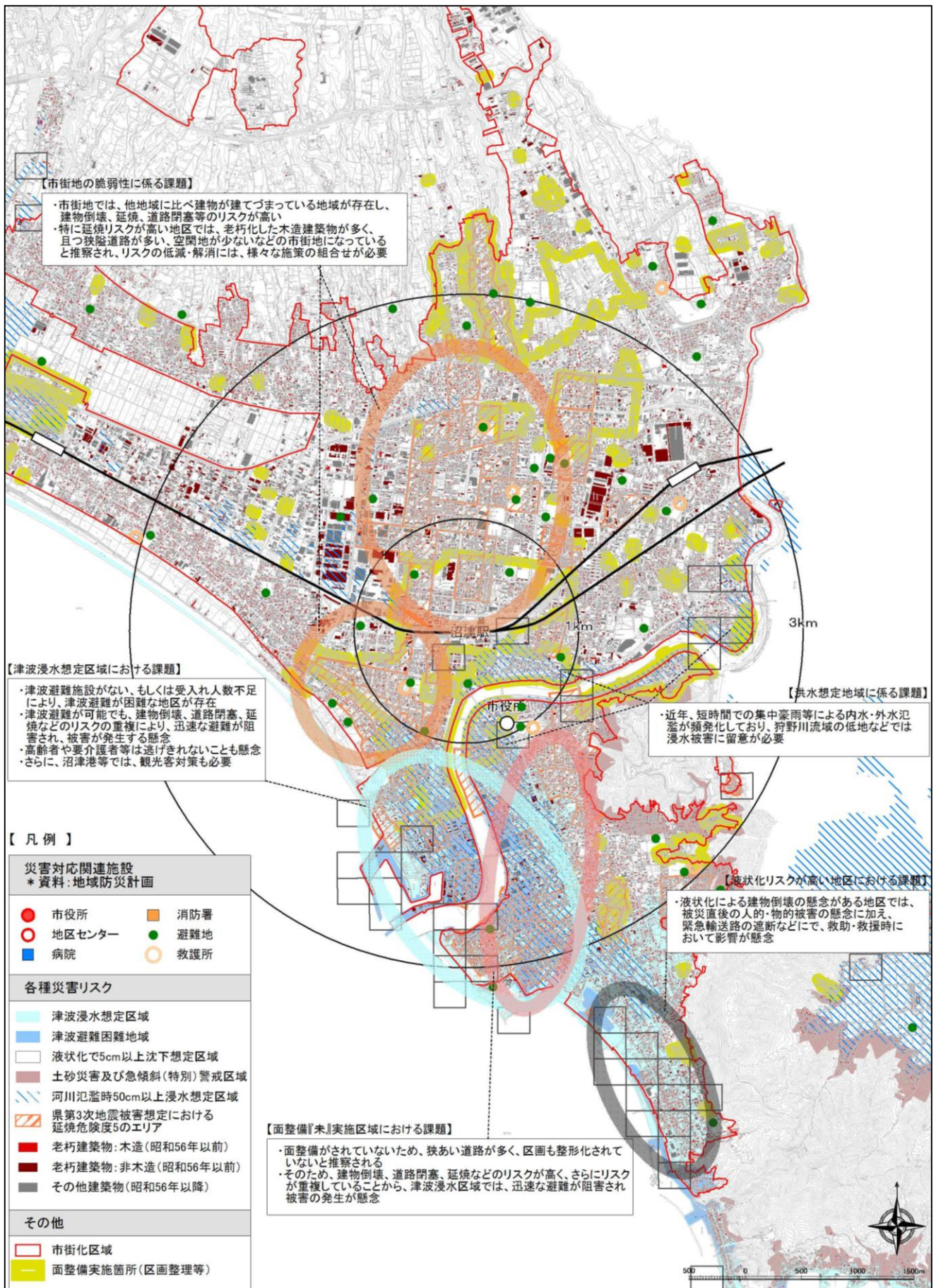
市街化区域

2

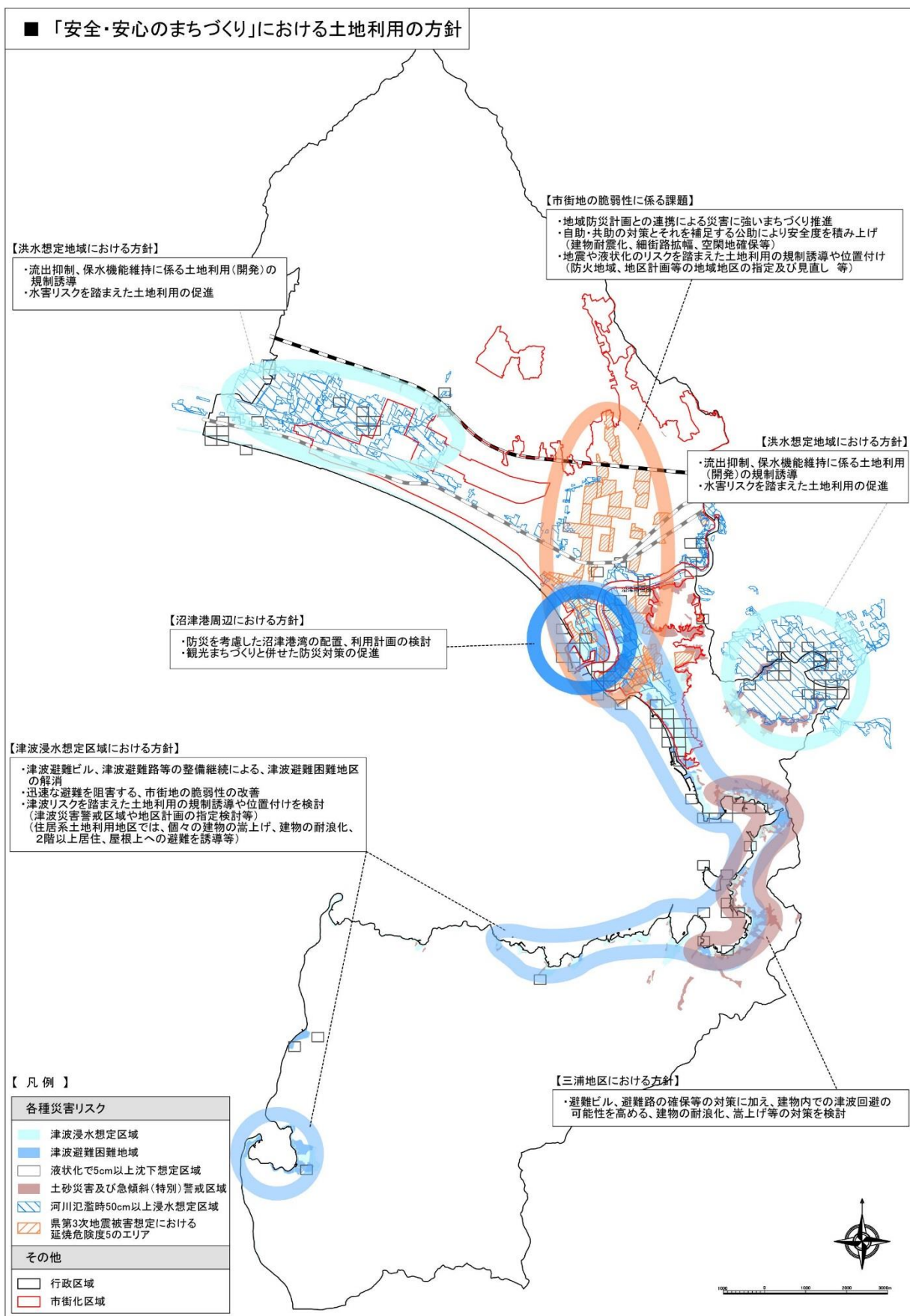
## ■「安全・安心のまちづくり」における市全域の課題図



# ■「安全・安心のまちづくり」における中心市街地周辺の課題図

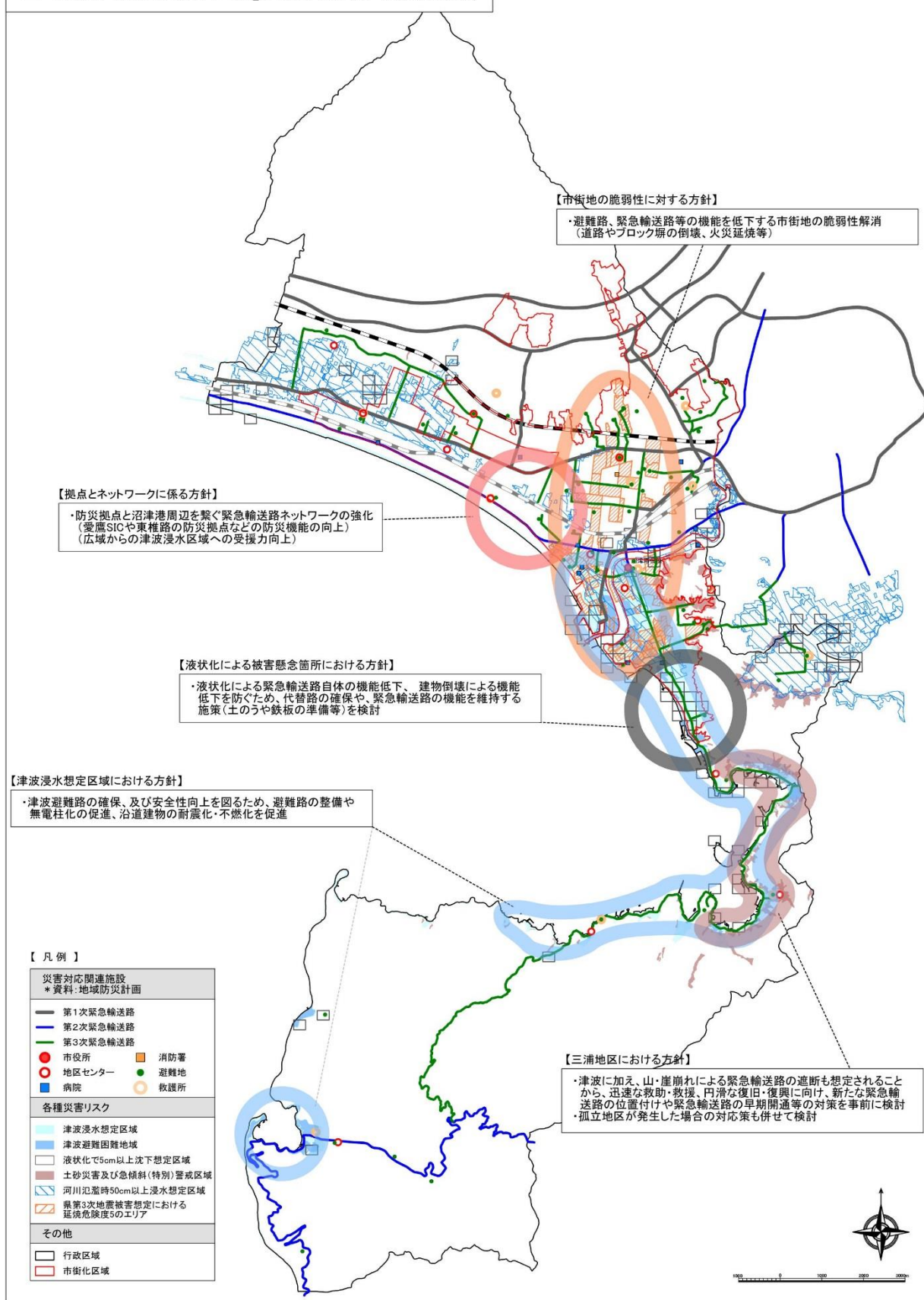


## ■「安全・安心のまちづくり」における土地利用の方針図



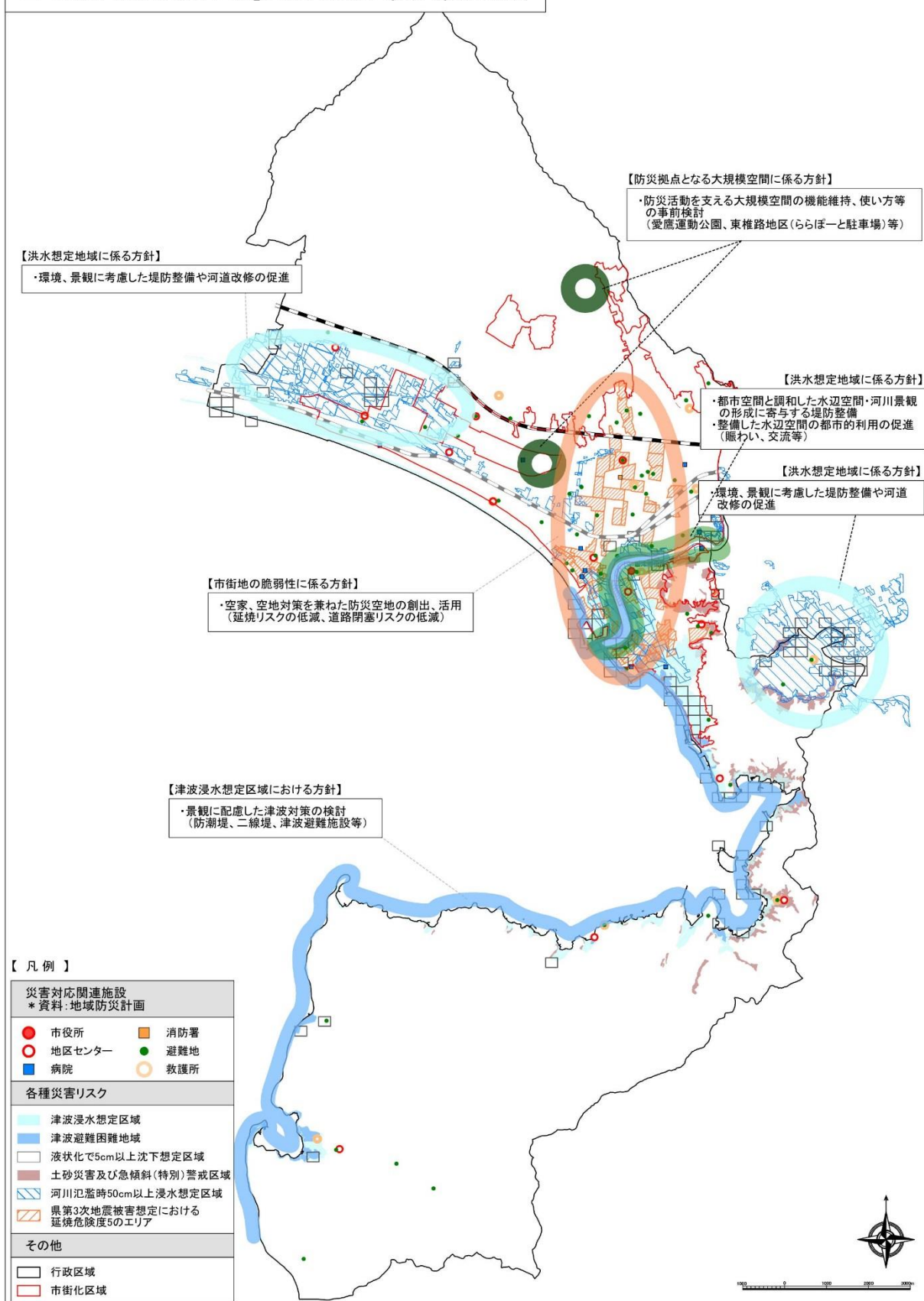
## ■「安全・安心のまちづくり」における道路・交通の方針図

### ■「安全・安心のまちづくり」における道路・交通の方針

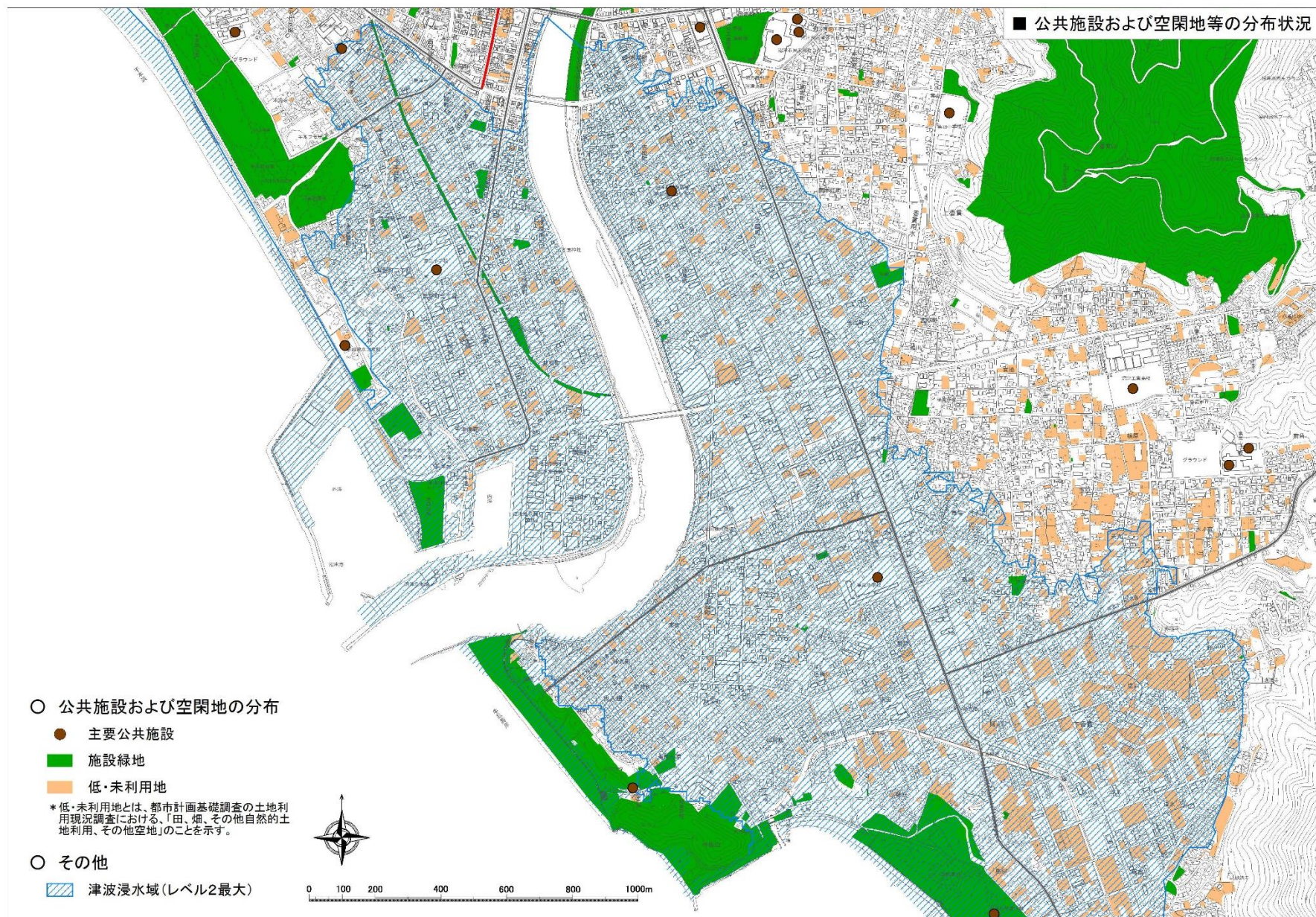


## ■「安全・安心のまちづくり」における公園・環境・景観の方針図

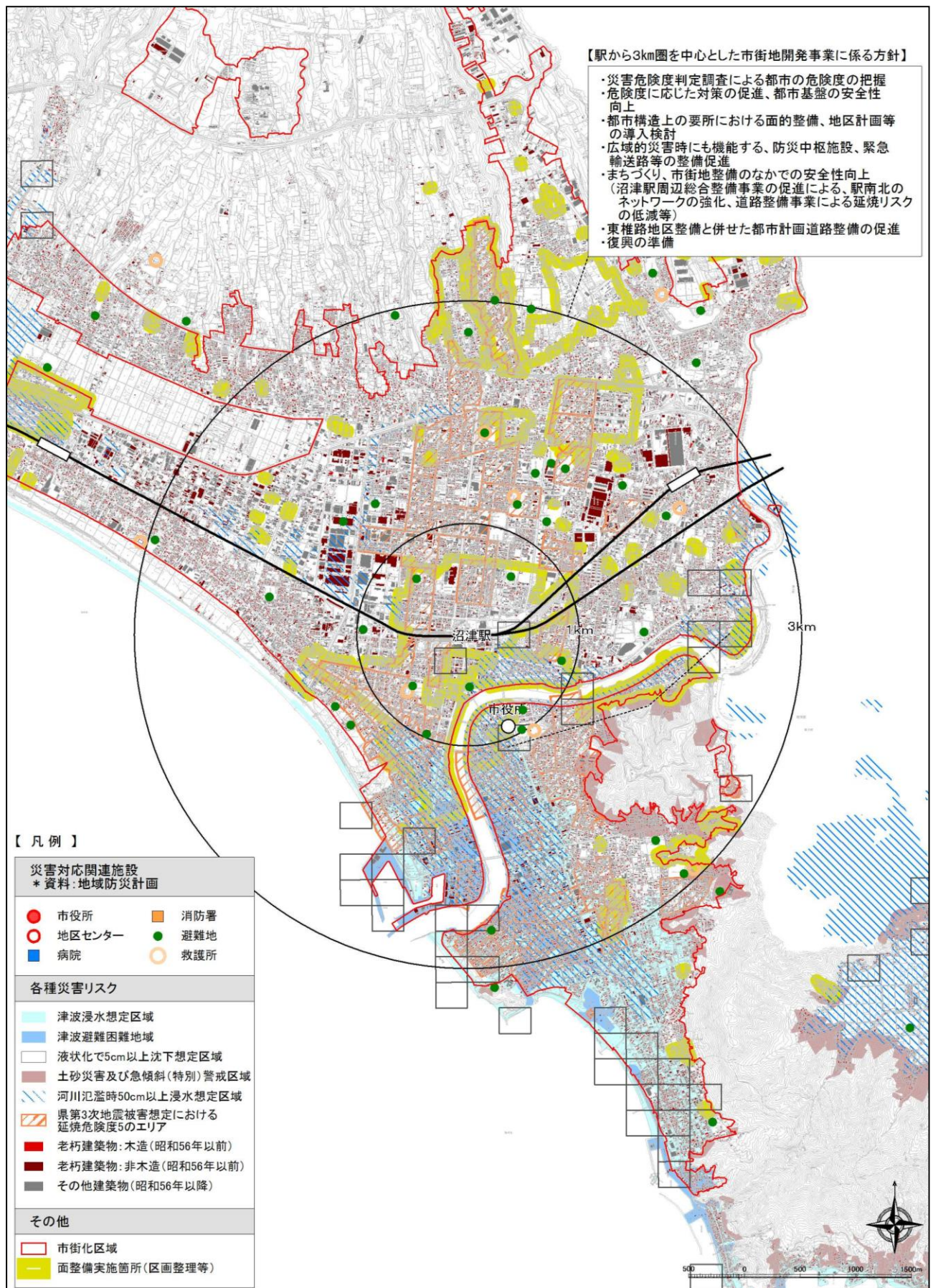
### ■「安全・安心のまちづくり」における公園・景観・環境の方針



## (参 考) 公共施設及び空閑地等の分布状況



## ■「安全・安心のまちづくり」における市街地開発事業等の方針図



### (3) 議論のテーマ

#### ○安全な市街地づくりを平時から進める取組について

津波浸水想定区域において平時から進める取組の事例

- ・ 津波避難ビル、避難路等の整備継続による津波避難困難地区の解消
- ・ 迅速な避難を阻害する市街地の脆弱性を改善（耐震化や不燃化を促進）
- ・ 土地利用の規制誘導の検討（津波災害警戒区域、地区計画の指定検討、個々の建築物による対応の誘導）
- ・ 災害避難行動計画の策定

#### ※（参考）個々の建築物による対応例

浸水 2 m 未満：2 階以上に居住、個々の宅地をかさ上げ、構造の耐浪化

浸水 2 m 以上：屋根上への避難、構造の耐浪化

- ・ 名古屋市臨海部防災区域建築条例、東海市住宅浸水対策改修等工事費補助制度などを参考に基準の設定を検討

#### ○災害時における防災拠点とネットワークについて

- ・ 新たに整備される防災拠点の活用可能性（沼津駅周辺地区・東椎路地区・香陵公園周辺地区）
- ・ 緊急輸送ルートの確保と物資供給方針

※関係課：危機管理課「防災拠点機能等検討業務」の検討内容を次回委員会資料に反映